

最近の災害の特筆すべき事項と検討・課題について (事務局案)

< 最近の災害の特筆すべき事項や課題 >

(豪雨に起因する災害について)

- 1) 前線、台風による短期集中豪雨により特定地域で土砂災害が多発し、多数の死者が生じた。
- 2) 土砂災害により道路が分断され地域の孤立化や防災情報の途絶が起こった。
- 3) 避難場所が土砂災害により被災した。
- 4) 高齢者等災害時要援護者が多く被災した。
- 5) 土石流等に伴い大量の流木が流出し、災害を助長した。
- 6) 市町村の避難勧告等の発令の遅れが目立った。
- 7) 避難勧告発令後も避難しない住民が多かった。

(火山に起因する災害について)

- 8) 浅間山で中規模噴火が起こった。

(地震に起因する災害について)

- 9) 新潟県中越地震が起こり、3800箇所以上の崩壊地が発生した。
- 10) 地震に伴い大規模な河道閉塞が起こった。

< 整理項目 >

- 1) 前線、台風による短期集中豪雨により特定地域で土砂災害が多発し、多数の死者が生じた。

土砂災害発生と雨量強度の関係、雨量確率等を整理する。

今年の豪雨は土砂災害の面からはどのような特徴を有する豪雨であったのか？

足羽川の氾濫により市街地においても大量の土砂が堆積した。足羽川の土砂収支はどうなっているのか？ (総合土砂管理の視点)

土砂混入率の高い中小河川における河道計画との整合の取り方

について

土砂災害の発生箇所、特筆すべきものはその氾濫範囲を整理する。

土砂災害特別警戒区域、警戒区域を設定していたとすれば妥当であったか検証する。

土砂災害危険箇所と土砂災害危険箇所以外における災害の発生割合、特筆すべき災害の特徴、現象等を検証する。

死者の特定分析(年齢構成、場所、全壊半壊等)をする。

災害時要援護者の割合、自宅、避難中の被災者の行動等を分析し、集中豪雨時に避難行動のあり方を議論する。

砂防えん堤等の施設効果を整理する。効果が少ない事例があればその原因は何か？

砂防えん堤等の施設配置、選択した工種に問題はなかったか？

流路断面、流末処理計画で課題が生じた原因の改善方法をどうすべきか？

スリット砂防えん堤の効果はどの程度あったのか整理する。

スリット砂防えん堤の効果について検証する。

2)土砂災害により道路分断され地域が孤立化したり、防災情報の途絶が起こった。

孤立化した集落の状況を整理する。

避難路の確保方策はあるのか？孤立化をやむを得ないとした場合の安全確保方法は何か？

その地域における防災情報の伝達手段を整理する

特に中山間地域における情報伝達及び収集手段はどうあるべきか？

3)避難場所が土砂災害により被災した。

避難場所と氾濫区域等を整理する。

安全な避難場所、避難路の設定方法や確保できない場合の対応はどうすべきか？

4) 高齢者等災害時要援護者が多く被災した。

災害時要援護者の被災場所等を整理する。

事業実施の優先度、重点化のあり方

災害時要援護者に対する避難、情報伝達について整理する。

災害時要援護者に対する情報提供、避難方法について、砂防事業者としてどのような支援ができるのか？

5)土石流等に伴い大量の流木が流出し、災害を助長した。

流木の量と流木に起因する災害形態について整理する。

流木を大量に含むと災害形態はどのように違うのか？流木対策計画を見直す必要はあるのか？

多大な風倒木被害が発生した。崩壊面積の拡大や風倒木の流出に対する有効な対策はどのようなものか？

6)市町村の避難勧告等の発令の遅れが目立った。

土砂災害の情報としてどのような情報が、いつ、どのような手段で伝達されていたのか整理する。

伝達された情報が分かりやすく、参考となる情報であったのか？

情報提供のタイミングが適時適切だったか？また、情報伝達が遅れなかったか？

市町村長が避難勧告を行った動機、理由は何か整理する。

どのような情報やアドバイスがあれば避難勧告が発令できるのか？(ex.災害発生時の緊迫度が分かる情報等)

7)避難勧告発令後も避難しない住民が多かった。

住民はどのような情報、アドバイスがあれば避難するのか検討する。

住民まで避難勧告情報が伝達されていたのか？

住民が避難に要する時間はどのくらいかかるのか？

住民が避難を決断する動機は何か？また、避難を促す情報とはどのようなものか？(近所の声かけが有効と言われている。)

8)浅間山における中規模噴火の対応について

ハザードマップは今回の噴火に対して有効であったか整理する。

今回の噴火でハザードマップはどのように活用されたのか？

噴火時の対応として不十分な点はあったか整理する。

火山活動レベルや噴火に対応した事前マニュアルはどのようなものが
必要か？

9)新潟県中越地震が起こり、3800箇所以上の崩壊地が発生した。

地震に伴う崩壊地に関する特徴を整理する。また、降雨に起因する
ものと地震に起因する土砂災害と氾濫範囲などに違いがあるの
か整理する。

地震の外力を想定した危険箇所の設定は必要か？

降雨に起因するものと地震に起因する土砂災害と氾濫範囲など
違いがあるのか検証する。

芋川流域等で地すべり等による大規模な河道閉塞が生じたが、ど
のような現象であったか？また、発生場所を予測できるのか？

10)地震に伴い大規模な河道閉塞が起こった。

大規模河道閉塞への応急対応を整理する。

大規模河道閉塞に対応についての事前マニュアルへの追加・修
正事項は必要か？

11)地震後の実態調査の留意点等